

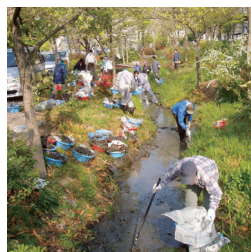
市民・事業者・行政の三者が協働して環境保全活動に取り組む
ながの環境パートナーシップ会議

JR東日本のコマーシャルで放送され、パワースポットとして普段より多くの観光客が訪れている「戸隠地区」がある長野市は、周囲を美しい山々に囲まれ、大河が流れる自然豊かな街です。私たち「ながの環境パートナーシップ会議」は、アジェンダ21ながの(長野市環境行動計画)の、「山にみどり・川に清流・谷に風・空の星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知

◆推進プロジェクト一覧◆ 平成22年10月現在

No.	プロジェクト名
1	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全) プロジェクト
2	光害対策 プロジェクト
3	「環境総合センター」設置 プロジェクト
4	学校版環境マネジメントシステム導入 プロジェクト
5	事業者の環境ISO取得支援 プロジェクト
6	生ごみの削減・再利用システム構築 プロジェクト
7	食品トレイ使用削減 プロジェクト
8	レジ袋使用削減 プロジェクト
9	市民の森づくり プロジェクト
10	太陽エネルギー普及促進 プロジェクト
11	スキー場跡地の自然復元 プロジェクト
12	子どもの環境学習支援 プロジェクト
13	ウェザーステーション プロジェクト
14	ながのカーボンフットプリント プロジェクト

恵と行動でつくる環境・未来・ながの」を環境ビジョン(目標)にかかげ、22年10月現在、13のプロジェクトチームが14のプロジェクトを推進しています。その中のひとつ、水環境保全プロジェクトは、オリンピック村だった今井団地の中の水路を、信州大学の学生や地域の方とともに整備・清掃などを行っています。また、食品トレイ・レジ袋削減プロジェクトでは、小売業者と削減のための協定を結んだり、レジ袋使用削減のキャンペーン活動をしています。



水環境保全プロジェクトの今井団地水路清掃

プロジェクト一覧の11~14は今年度新たに立ち上がったプロジェクトですが、スキー場跡地の自然復元プロジェクトは、市内大岡のバノラスキー場が閉鎖された後の自然を復元しようというもので、大岡地区の住民自治協議会と連携してすすめています。

ながの環境パートナーシップ会議では、多様な生き物が暮らすこの町の環境を守り、復元・創造し、将来に引き継いでいこうと活動しています。熱い思いを持つ仲間とともに、環境活動しませんか? お待ちしています!!

長野市役所環境政策課内 **ながの環境パートナーシップ会議事務局**

電話: 026-224-5034

カーフリーデーふくい 2010IN田原町 を開催しました
NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

カーフリーデーとは?

平成22年9月23日に行われたカーフリーデーとは「街の一定の区域において1日車のない街を生み出し、普段の空間との違いを体験することにより「車と地球環境」「車と都市生活」との関係を考え直す機会にしようとする世界的なイベント」です。日本では10都市で行われていますが、ヨーロッパを中心に約2,100都市で開催されています。

どんなことをするのですか?

今回は、田原町商店街と田原町デザイン会議、さらにはえちぜん鉄道、福井鉄道、京福バス、まちづくり福井(すまいるバス)との共催で、田原町商店街通りを通行止めにして、車の走らない空間を、公共交通などクルマを使わないで来られた多くの参加者たちが楽しみました。

●「モビリティセンター」を開設

田原町は、えちぜん鉄道、福井鉄道(バス・電車)、京福バス、すまいるバスの路線が走っていて交通の結節点となっています。その中心の田原町駅は多くの人々が利用します。モビリティセンターでは乗継情報や付近の文化施設のイベント情報などを提供しています。公共交通を利用する人に役立つ様々なアドバイスをして、クルマがなくても移動がスムーズにできるようバックアップするところです。



田原町駅に設置したモビリティセンターの様子

●バスの乗り方教室の開催

子供のうちからバスの乗り方を体験し、バス利用の抵抗を少なくしておかなければ、ますます公共交通の利用機会はなくなります。バスの運転席に座り運転手体験という遊びを取り入れながら体験します。

●エコエネルギーの体験

NPO法人エコプランふくいの参画により、うちわの風力で自身が発電したエネルギーを蓄え、模型ミニカーを走らせようというコーナーが実現しました。ミニカーとはいえ、かなりおおがけなように動いてくれます。まさに、エネルギーが有限であることを気づかせてくれます。

●ミニ電車に乗ろう

大人(父親)は自転車でエネルギーを発電し、ミニ電車には子供が乗車して楽しむイベントが行われました。ここでも、大人が必死で電気をおこす姿が印象的でした。



カーフリーデーの拠点「たわら屋」の前にて

●たわら屋

田原町商店街の拠点となる「たわら屋」では、田原町駅とともにカーフリーデーの総合案内の役割を果たしました。コーヒーやビールなどの飲み物、クラフトの販売、似顔絵コーナーなどで楽しんでいただきました。折からの雨により、目玉の企画であった底喰川でのボート川下りや雑木林でのツリーハウス体験が中止となってしまい、残念でした。

ROBAが中心となって毎年行うカーフリーデーは今年で4年目です。事前の広報の不備や資金的な問題もあり、まだまだ県民に伝わっていませんが、ひとりひとりの行動が地球環境にプラスになることを、カーフリーデーを継続して開催することにより伝えていかなければならないと思っています。今後は、福井県もこのカーフリーデーに主体的に参加し県民運動にまで広がっていくことを期待しています。

NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)HP: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>
 お問い合わせ: roba@mbh.nifty.com

いきもの不思議の国・中池見湿地を守る
NPO法人 ウェットランド中池見

私たちが保全に取り組んでいる中池見湿地は、奇跡的に開発計画を免れた場所です。

最初は、1990年に敦賀市が策定した総合計画で工業団地造成の候補地に、92年には液化天然ガス(LNG)備蓄基地建設計画が、しかし、全国から多くの支援を受けてのトラスト運動、環境重視の風潮と経済情勢の変化など、いろいろな要因が重なり、99年には本格着工の10年延期、2002年には計画そのもの中止を決定。05年に買収地と造成施設が事業者から敦賀市に寄付されました。

この中池見は、袋状埋積谷と呼ばれる特異な地形と世界屈指の泥炭層(厚層約40m、12万年分)の現存、さらに3000種を超える多様な生物の生息空間であるということから国際的に注目を集めています。また、深い沼地であった地を拓いた新田開発の歴史や特有の農耕文化、中世戦国の歴史と史跡など自然環境と歴史的遺産が融合したエリアといえます。



ラムサール条約登録湿地を目指す中池見全景

位置的にも敦賀市街に近接、JR敦賀駅から歩いて30分ということから身近な自然観察の場、ウォーキングコース(中部北陸自然歩道・戦国ロマンを偲ぶ道)として各方面からの来訪者が増えています。また、このたびのCOP10でも海外からの参加者が見学会で訪れました。

開発の中止を受けて1991年から調査・保護活動を続けてきた団体の中心メンバーを母体に2003年、NPOを立ち上げました。現在、定例自然観察会や環境省事業のモニタリングサイト1000・里地分野コアサイトとして8項目の調査を、また保全・修復作業も行っていきます。これらの活動が評価され、日本ユネスコ協会連盟の第1回「プロジェクト未来遺産」の登録を受けました。また、開発から守り、未来へいかに引き継いでいくためにラムサール条約登録湿地を目指しています。



アースティの日に...泥んこ遊び

NPO法人 ウェットランド中池見HP: <http://nakaikemi.jp/>
 お問い合わせ: info@nakaikemi.jp